NEWS RELEASE

令和８年３月１０日

報道関係各位

奈良県三宅町

東洋ライス株式会社

奈良県三宅町、東洋ライス株式会社
包括的連携に関する協定を締結
「三宅町産米でつなぐ未来：健康・食育・農業振興、そして災害支援へ」

この度、奈良県三宅町（町長：森田浩司、以下「三宅町」）と東洋ライス株式会社（代表取締役社長：雑賀慶二、和歌山本社：和歌山市、以下「東洋ライス」）は、令和８年３月１０日付で町民の健康増進や食育の推進、農業振興、災害時支援等を通じて地域活性化を目的とした包括連携協定を奈良県内で初めて締結いたしました。

具体的には、三宅町産米を「金芽米(きんめまい)」に加工し、令和８年度に試験的に町立三宅幼児園の給食で提供するほか、４月からは三宅町の未来を担うこどもたちの支援策の一環として、妊産婦のみなさまに心身ともに健康に過ごしてもらい、元気な赤ちゃんを産んでもらうことを目的にマタニティ応援プロジェクトを実施します。また災害時の支援、農業振興における米の精の活用などを検討しており、今後連携事業を拡大していく予定です。

【包括連携協定における連携事項】

（１）　町民の健康増進に関すること

（２）　食育に関すること

（３）　農業振興に関すること

（４）　防災に関すること

（５）　情報発信に関すること

（６）　地域活性化に関すること

（７）　その他、本協定の目的を達成するために甲、乙が必要と認める事項に関すること

【奈良県三宅町の概要】

三宅町は、奈良盆地の中央に位置する面積わずか 4.06 ㎢の全国で２番目に小さいまちです。ヤマト王権の直轄地である倭屯倉（ヤマトノミヤケ）が設置されていた５世紀頃から米作りが行われてきたとされ、大阪・京都の都心部にアクセスしやすい環境でありながら現在も美しい田園風景が広がる「ちょうどいい田舎」です。

「自分らしくハッピーにスモール（住もうる）タウン」をビジョンに掲げ、「対話・挑戦・失敗」の３つを軸に、まちの小ささを前向きに捉え、住民と行政、地域団体が一体となった顔の見える関係性を活かした協働のまちづくりを推進しています。

【東洋ライス株式会社の概要】

・設立＝1961 年（昭和 36 年）　・資本金＝1 億円

・事業内容＝金芽米、金芽ロウカット玄米、ＢＧ無洗米の加工・製造・販売、精米機器の開発･製造販売その他

・和歌山本社所在地＝和歌山県和歌山市黒田１２

・電話番号＝073-471-3011　　・ＵＲＬ＝ https://www.toyo-rice.jp/

【本件に関する問い合わせ先】

○三宅町産業共創課　藤井　TEL：0745-44-3071

○東洋ライス株式会社　企画広報部　間　TEL：073-471-3011